

2019年10月15日
No.1904

- 人事課との意見交換会
- 定期大会開催と代議員選出
- 動管指導員と保健医療局との意見交換
- 現業レクを実施

現 評

愛知県職連合会 現業評議会

名古屋市中区三の丸3-2-1
愛知県東大手庁舎4階
代 表 052-951-4036
F A X 0120-930-340
http://www.aichikenshoku.gr.jp
gengyou19@aichikenshoku.gr.jp



人事課との意見交換に臨む現評本部役員

(9月30日、人事課分室)

昇任の早期化などで意見交換 人事課との意見交換会

春以降に職場代表者会議などで意見聴取してきた現業組合員の声を元に、主査級昇任の早期化などの課題で「人事課との意見交換会」を9月30日に実施しました。

意見交換の主な内容は次のとおりです。

①主任級昇任の

一般職との格差改善

現評として毎年給与実態調査を実施しているが、その結果をみると41歳ぐらいで主任級に昇格しており、平成18年度の給与構造改革以前の主任制度では40歳で

昇格していたことと比べても遅くなっている。若い職員の意欲を確保するためにも、主任級昇任の条件改善が必要だ。

▼人事課：他の給料表とのバランスなど、いろいろな面を見て判断している。平成24年度に、主任級の号給条件を8号給前倒ししており、これ以上の改善は考えていない。

②主査級昇任の

一般職との格差改善

現業職給料表では主査級に昇任しないと、以前と比べて給与水準が低下する。

現行の人事評価制度の下できちんと評価を得て、主査級発令を早期化させてい

くことが重要だと認識しているとところである。

▼人事課：人事評価制度、リーダーシップなど踏まえ、部局からの推せんにより決めている。組合から50歳代前半で昇任できるようにとの要望をいただき改善を図ってきたところであるが、現状が目一杯である。

③現業職員の主査級発令

現業職員の主査級発令について、全て4月16日付となっている。4月16日付の主査級発令では、5級への昇格が実質1年遅れることになる。現業職員以外では4月16日付がこれほど多いとは思えない。

確認だが4月16日付の場合は期末勤勉手当の役職等段階別加算は、主任級の3%のままか。

▼人事課：部局からの推せんに基づいて、ふさわしい人を決めている。他の職種でも4月16日付の発令はあり、昇任のバランスの中で決めているものである。なお、期末勤勉手当の役

④現業職員の

常勤再任用時の職級

職等段階別加算については4月16日付発令者は主査級のポストに就くのが翌年度であり、当該年度は主任級の3%である。

常勤再任用職員に関して現業のみ技師級となっておりその他の職種に比べ給与が低く設定されている。

▼人事課：現業職の常勤再任用時の職級については、職責及び職制や給料表の構造から主事技師級と整理したものであり、見直しは考えていない。

(裏面に続く)

現評定期大会を開催

12月14日(土)14:30～アイリス愛知

現評定期大会を開催するため10月15日付で代議員選出依頼を送付しました。

選出する代議員は、各職場1人、10人を超える職場は2人です。



⑤会計年度任用職員の報酬額の水準

来年度からこれまでの一般職非常勤職員から会計年度任用職員へと制度が変えられ、報酬額について組合と合意したところではある。今後の採用状況も見ながら人材確保という面から水準の見直しを図ってほしい。もし確保できないと現場

の業務への影響が大きいのが実状である。

⑥現業職員の採用方法

▼人事課：夏の交渉でもできることはやってきた。報酬額の水準が低いということとは理解するが、これ以上引き上げる理屈がない。来年度からは一時金も支給されるようになり、確かに若年層では低いですが、年配者は国が想定した水準より

高いものとなっている。現業職員の採用にあたっては、意見交換会での要望も踏まえて、採用時期を早くして、現場での適性を把握できるようにしていた。引き続きこうした対応をお願いしたい。現時点で次年度の採用方法や時期などで変更予定は

動管指導員の退職後補充で保健医療局と意見交換



動管指導員部会メンバー等が参加し意見交換

● 動管指導員は今年度末に正規職員2名の定年、非常勤職員4名の任期満了がありその後補充、主査級昇任の早期化、動物管理車の更新について、医療計画課、生活衛生課との意見交換を行いました。

保健医療局からは、「現業業務のあり方見直し」において動管指導員については

「当面は正規職員で行う業務」と整理されており、その方針には変わりない。● 欠員については補充をしていく。正規職員であれば正規職員で、非常勤職員であれば非常勤職員で補充する。ただし、定数の中での補充対応であり、このことについてはご理解いただきたい。

● 動管指導員の職員数については、従来からの捕獲頭数の数値だけで見ると減ってしまうので、業務内容が愛護業務にシフトしていることについて把握し対応したい。

また、センター長からも動管指導員の正規2名の確保について聞いており、確保に向けて頑張っていきたい。

● 主査級への昇任を早くしてほしいということは聞いており、人事課にもなるべく早くできるようお願いしているところである。

あるか。

▼人事課：採用については当分は現在の方式を継続していく。変更の予定はない。来年度は、運転手、動管指導員、農場員、牧場員の4職種で採用を予定している。

⑦動管指導員の職員確保

動管センターの正規職員の退職、再任用職員の退職などが重なり業務に支障が出るのが危惧される。ぜひ、正規職員で確保していただけるようお願いしたい。

▼人事課：採用については何人減るかということを見ているので、正規は正規、非常勤は非常勤での採用を考えている。採用試験を通じて適任者を確保したい。

⑧非常勤職員から正規への巻きかえ

なお、採用人員は業務量の増減をみて判断している。● 非常勤職員から正規への巻きかえは、正規から常勤再任用、さらに短時間再任用、一般職非常勤職員への置き換えもすすんでおり、業務への支



現業レクを2年ぶりに実施 13人が参加してビール工場見学等

9月21日(土)にキンビール名古屋工場見学とブルワーズハウスにおけるランチによる現業レクを2年ぶりに実施しました。参加者は13人で募集人員の20人には達しませんでした。が、最少催行人員10人を上回りました。

障も大きくなっている。非常勤職員などの採用が困難な場合は正規に戻せるようにしてほしい。▼人事課：現業業務のあり方でも確認したとおり、業務量をみて配置したい。業務量があれば非常勤を正規に戻すという要求を部局にしていたら検討することとなる。